

代表質問

代表質問は、会派を代表して行う質問で、市長の市政執行方針および教育長の教育行政執行方針について、その所信を質すものです。

今回の定例会では5つの会派全てが代表質問を行いました。ここでは、質問に対する答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

新幹線問題へのスタンス

民主・市民ネット 福島 恭二

質問 北海道新幹線の札幌延伸着工問題の解決に向け、国道、JR北海道との過去の経緯を尊重し、信頼を回復することが先決と思うが、今後の対応とスタンスを聞きたい。

答弁 新幹線の札幌延伸に関しては、並行在来線の取り扱いが、その認可・着工条件のひとつとされている。新函館駅・現函館駅間の経営分離問題については、JR北海道や道、周辺市町との信頼関係構築が大切であると考えており、今後、様々な機会をとらえ協議を重ねていきたい。(市長)

92項目の政策の整理

市民クラブ 小野沢 猛史

質問 函館再生の5つの挑戦として掲げた92項目の政策を整理し、表現や方向性について見直すことも必要と考えるが、市長はどう考えるか。

答弁 92項目の政策は、4年間のマニフェストではなく、函館のまちをこうすべきという私の考えを総括的に示したものである。各項目については、年次の整理をしなければならぬと思っており、途中で皆さんの意見を聞きながら、見直すべきものが出てきた場合は、謙虚に受け止めたいと考えている。(市長)

個人質問

個人質問は、市の行政全般にわたって、市長をはじめとする執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すものです。今回の定例会では13名の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問に対する答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

災害対策本部機能の確保

民主・市民ネット 見付 宗弥

質問 災害対策本部が設置される本庁舎や各支所の庁舎の状況、支援に当たる市職員への対策はどうなっているのか。

答弁 本庁舎、戸井・恵山・南茅部の各支所は耐震診断未実施の状況である。災害時の本部機能を確保するため本庁と各支所に衛星電話と非常用発電設備を設置している。職員の食料などは備蓄品で対応する。建物の耐震化は、学校を優先と考えているが、耐震の調査は早急に実施しなければならぬと考えている。(市長・総務部長)

防災行政無線の整備

市政クラブ 吉田 崇仁

質問 東部4支所管内では、防災行政無線が既に整備され、先般の津波警報発令時も活用されたが、旧函館市の沿岸地域にも整備すべきではないか。

答弁 旧市域においては、防災行政無線を整備しておらず、このたびの避難勧告等の情報伝達は、広報車やテレビ報道等により広報したところである。防災行政無線は、市民から設置要望などの意見もあることから、現在着手している防災計画の見直し作業の中で、その整備について、設置区域も含め検討したい。(市長)

旧4町村地域の避難所と避難路

公明党 茂木 修

質問 旧4町村地域における避難所、避難路は、津波被害を想定していないところも多いため、今後の対策をどのように考えているのか。

答弁 各避難所は、現在の地域防災計画の改訂時に指定したもののだが、今回の震災で避難された市民の方々から、避難所の位置や避難路についての意見を多くいただいていることから、今後の地域防災計画の見直しに当たっての一つの検証項目と位置づけ、鋭意調査を行いその対策を検討していきたい。(市長)

住宅リフォームへの助成制度

日本共産党 市戸 ゆたか

質問 景気回復の特効薬として経済対策の視点で住宅リフォーム助成制度を実施すべきと考えるが、市長の見解を聞きたい。

答弁 当該制度は、住宅の耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化を促進するための住宅・福祉・環境対策の一環として制度を整え、新年度から実施したい。建築関連産業の活性化という点で、経済対策の効果も期待できるものと考えている。今後必要があれば関連業者からも話を聞きたい。(市長)

亀田地区での市民プラザ建設

市政クラブ 北原 善通

質問 亀田福祉センター、亀田公民館、亀田青少年会館、美原老人福祉センターの統合に向けてどのような方法で進めようとしているのか。

答弁 各施設は老朽化が進んでおり、亀田地区において機能を一元的に集約した新たな施設を建設し、地域住民の利便性を高めるとともに、ランニングコストの低減を図りたいと考えている。統合に向けた具体的な進め方については、今後、検討を進め、地域住民や利用者などの意見も伺いながら取り組みたい。(市長)

中心市街地活性化と基本計画

公明党 松宮 健治

質問 中心市街地活性化のために組織体制を強化したが、今後の具体的取り組みや基本計画の策定期間、また、将来の展望を教えてください。

答弁 新幹線新函館駅開業までの駅前・大門地区再生が最重要課題であることから、具体的には子どもおもしろ館や高齢者サロンの開設等誰もが楽しめる魅力ある空間の形成に努めたい。中心市街地活性化基本計画は来年度策定予定だが並行しながら独自施策に着手する等活性化に向けて優先的に取り組む。(市長)